

(令和4年度第2次補正) 静岡県地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 **島田市** (都道府県: **静岡県**)
 本事業の担当部局名 **健康福祉部 健康づくり課**

事業メニュー		結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_機運醸成事業			
区分		一般メニュー			
関連事業メニュー		3.1.1 男性の家事・育児参画促進、配偶者の出産直後の男性の休暇取得促進			
個別事業名		フレッシュパパママ講座・はじめのいっぽ講座	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	令和2 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1		47,036 円			
市町における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2		(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け) <地域における実情と課題> 島田市においては、すべての子どもや子育て家庭を地域全体で支える環境をつくり、「第2期島田市子ども・子育て支援事業計画1」に掲げる「子育てしやすいまち パパ・ママに寄り添うまち 子育て応援都市 島田」の実現を目指して、切れ目のない総合的な子育て支援の取り組みを進めている。 国の調査結果では、夫の家事・育児時間が長くなるほど、第2子以降の出生の増加が認められており(「第12回21世紀成年者縦断調査」(平成25年実施、厚生労働省調査))、父親の育児参加を促すことが必要である。 <本個別事業の位置付け> 本事業は、父親の育児参加を促し、夫婦で子育てをイメージするとともに、妊婦・父親同士の交流のきっかけづくりの場として担当保健師が妊娠期から父親も含めた家族を支援することで、家族が安心して子育てできる「産みやすい」「育てやすい」「相談しやすい」環境づくりに取り組むことで出生数の向上を目指すものである。			
		(本個別事業における現状と課題) コロナ禍で医療機関での妊婦対象の講座等もオンラインが多くなっていくことも影響し、フレッシュパパママ教室の参加希望者は多く、会場の都合で、参加を断る場合がある。フレッシュパパママ教室及びはじめのいっぽ講座の参加者は夫婦での参加率が高く、満足度も高い。参加者同士の交流も好評で、参加者からはもう少し交流を図りたいという声がかかっている。夫婦で参加できなかった方からは、一緒に話を聞きたかった等の声が多い。			
		(課題への対応) より多くの方が参加できるようフレッシュパパママ教室は、開催回数を増やしていく。 また、夫婦で参加できない方を対象に、教室と同様の内容をWEB等で情報提供を行う。			
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	フレッシュパパママ教室・はじめのいっぽ講座	初産婦夫婦に対し、妊娠期の講座による支援を行う(申込制) 1. フレッシュパパママ教室(申込制) 回数:1クール2回 1年で5期 参加予定人数:延べ300人 対象:出産予定日が8月以降の初産婦及びその夫(妊娠中期までの夫婦) 内容:妊婦・父親同士の交流、妊婦・胎児疑似体験、食生活講座など 2. はじめのいっぽ講座(全員) 回数:毎月2回(A・Bブロック各1回) 参加予定人数:延べ536人 対象:おおそ妊娠8か月の初産婦及びその夫(妊娠後期の夫婦) 内容:担当保健師面談、お産の準備や子育て支援に関する講話と相談、マタニティフォトコーナーなど、欠席者への情報提供を行う	○	○
	2				
	3				

【次年度以降に向けた事業の方向性】
参加者のアンケートをもとに、事業内容について継続的に見直しを実施していく。また、夫婦で参加できない方への情報提供等支援を検討する。

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
		赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問)の訪問率	%	100(令和6年度)
	担当保健師がいることを知っている保護者の割合	%	80.0(令和6年度)	93.8(令和3年度)
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率	%	1.5((H25~H29)厚生労働省:R2公表値)	
	婚姻件数	件	292((R2)静岡県人口動態統計:R4公表値)	
	婚姻率	%	3.1((R2)静岡県人口動態統計:R4公表値)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	フレッシュパパママ教室に夫婦で参加した割合(夫婦の参加者数/参加者数)	%	80(令和5年度)	75.6(令和3年度)
	フレッシュパパママ教室に参加した人数	人	240(令和5年度)	130(令和3年度)
	はじめのいっぽ講座に夫婦で参加した割合(夫婦の参加者数/参加者数)	%	50(令和5年度)	41.3(令和3年度)
	はじめのいっぽ講座に夫婦で参加した人数	人	268(令和5年度)	194(令和3年度)
	フレッシュパパママ教室に参加者が満足した割合(満足した参加者数/参加者数)	%	100(令和5年度)	92(令和3年度)
	はじめのいっぽ講座の参加者が満足した割合(満足した参加者数/参加者数)	%	100(令和5年度)	100(令和3年度)
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	他自治体との連携はなく、市単独での実施。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	民間事業者との連携はなく、市単独での実施。			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「市町における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、②③は記載不要。

①これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情・課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

②本個別事業が継続事業である場合はこれまでの事業実施状況及びその中で見つかった課題(新規事業である場合は不要)

③本個別事業が新規事業である場合は地域における実情と課題への対応、継続事業である場合は本個別事業における現状と課題への対応

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和5年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。